

# ホオジロ

(2004年6月11日撮影)

おお 大きさはスズメくらい。鳴き声をよく、「一筆啓上  
つかまつ 仕り候 (お手紙を差し上げます)」と言っている  
そろう てがみ さ い  
みだ、と表現されます。木のてっぺんで「チチッ  
ひょうげん き  
チチッ」と鳴いているのをよく見かけます。  
な み

ほっぺた (ほお) が白いので「ほおじろ」です。正  
しろ しょう  
めん からみると、歌舞伎のお化粧みたいに見えます。  
かぶき けしょう み

じめん うえ か くさ す つく  
地面の上に枯れ草で巣を作るため、ヘビヤカラスに  
ねら おやどり とつぜん  
タマゴやヒナが狙われます。そんなとき親鳥は、突然  
は す はな  
バタバタと羽ばたきながら、ゆっくり巣から離れます。  
ぎしょうこうどう じぶん きず  
これは「擬傷行動」といって、自分がケガをして傷つ  
てき ほう つか  
いているふりをして、敵に「ケガをしている方が捕ま  
おも てき とお  
えやすい」と思わせて、タマゴやヒナから敵を遠ざけ  
ようとしているのです。

ひと おな あいじょう ふか とり  
人と同じで、とても愛情が深い鳥なのです。

○よく会える時期：1年中

○よく会える場所：やすらぎの森、芳の平など

